

「島会議」の活動を見学してきました。

2025年1月18日(土)に、呉市豊町久比で行われた「6days Work shop in 久比」のDAY 5-6を見学してきました。

「島会議」さんは、限られた資源の中で、自立かつ循環できる木造建築生産の在り方の探求をテーマに活動をされており、「つくること」を通じて地域と交流を行い、自分たちの暮らしを今一度考えてみることをミッションとされています。また、「つくること」にもこだわりを持たれており、「ゼロから生み出す」ではなく、「あるものからつくる・行ったり来たりしながらつくる・みんなで作る」の実践にこだわっておられます。



ワークショップ開催に先駆け、地元の皆さんと「農床(のうとこ)おかず会」を開催されていました。みんなで食卓を囲むことで交流を深め、地元の暮らしを学ぶだけでなく、参加者の健全で豊かな心を育むことを目的とされています。

食事会のあとはワークショップです。今回の活動では、EnjoyコースとMasterコースに分けて民家改修を行われており、Enjoyコースでは、元々あった土壁をはがし、骨格となる竹小舞の作成や、壁の塗り直しを、「まずやってみる」、「作り手のクリエイティブ」をキーワードに、参加されていた家族が、楽しみながら行われていました。その会話の中から、ものづくりの大変さと面白さを実感されていることが伺えました。



Master コースでは、プロの大工さんから技術を学びながら、床の改修に取り組まれました。梁や柱だけでなく、床板も使えるものは活用し、「あるものからつくる」を徹底されていました。また、床下にあった芋つぼも有効に活用すべく、今から工夫をされていくとのことでした。まったくの素人の私が聞いても理解できるように、作業のコツや注意点を説明して下さいっており、参加された方は大いに得るものがあったと感じました。



作業中に説明をして下さった榎さん、濱野さんから、「その土地の物を使ってその土地の建築をつくる」というお話があり、「集落として自立した、これからのまちの在り方を、実際の民家改修やものづくりを通じて提示していきたい」という活動の目的を、まさに実践されておられると感じました。

なお、研修を通して改修を終えた古民家は、老若男女が集える居場所として活用されていくとのこと、数年後の久比がどのように変わっているか、大いに期待しております。
(大塚)